

# 令和元年度事業計画

公益財団法人 滋賀県緑化推進会

## 1 基本方針

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚を図ること、および「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進することにより、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とする森林・緑づくりについて普及・啓発を行うとともに、環境に配慮した健全な森林づくりと緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施する。

また、公益財団法人として、引き続き円滑な組織運営を確保し、透明性の高い効果的かつ効率的な事業運営を行う。

## 2 事業計画

### (1) 森林・緑づくりの普及・啓発

ア 「緑の募金」運動 募金期間 春期 平成31年4月1日～令和元年5月31日

秋期 令和元年9月1日～10月31日

イ 緑化啓発コンクールの実施

ウ 緑化相談の実施

エ 募金活動等の総合的推進

オ 普及啓発活動の実施

カ 「山を活かす、山を守る、山に暮らす交流会」への参画

### (2) 第72回全国植樹祭への取組

ア 開催へ向けた緑化意識の向上

イ 植樹行事への取組

ウ 企業等協賛への取組

### (3) 森づくりへの活動支援

ア ふれあいの森づくりへの支援

イ 学校林づくりへの支援

ウ 協働の森づくりへの支援

### (4) 身近な緑づくりへの支援

ア 生活環境の緑づくりへの支援

イ 緑のまちづくりへの支援

ウ 淡海の巨木・名木次世代継承事業

エ 桜の並木・森の造成

オ 学校、福祉施設等の緑化

カ 緑化協力金による緑化促進事業

### (5) 森林・環境活動への支援

ア 緑の少年団等の育成と活動強化

イ 森林・緑化活動団体の活動支援

ウ 団体、企業等の緑化推進に関する研修の実施

(6) 国際緑化協力の推進

(7) 情報公開の一層の推進および効果的な事業展開に向けた検討

# 収 支 予 算 書

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,858	2,840	18	
事業収益	50	50	-	
受取会費	870	870	-	
受取補助金等	5,450	4,650	800	
受取寄付金	84,100	66,200	17,900	
雑収益	2	2	-	
経常収益計	93,330	74,612	18,718	
(2) 経常費用				
事業費	91,260	72,569	18,691	
管理費	2,070	2,043	27	
経常費用計	93,330	74,612	18,718	
(うち人件費)	15,130	13,701	1,429	
当期経常増減額	-	-	-	
当期一般正味財産増減額	-	-	-	
一般正味財産期首残高	5,036	5,097	△ 61	
一般正味財産期末残高	5,036	5,097	△ 61	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取寄付金	73,100	64,100	9,000	
一般正味財産への振替額	△ 84,100	△ 66,200	△ 17,900	
当期指定正味財産増減額	△ 11,000	△ 2,100	△ 8,900	
指定正味財産期首残高	568,488	571,445	△ 2,957	
指定正味財産期末残高	557,488	569,345	△ 11,857	
<b>III 正味財産期末残高</b>	562,524	574,442	△ 11,918	

# 収 支 予 算 書 内 訳 表

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

(単位 千円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,429	—	1,429	—	2,858
事業収益	50	—	—	—	50
受取会費	870	—	—	—	870
受取補助金等	4,800	—	650	—	5,450
受取寄付金	84,100	—	—	—	84,100
雑収益	2	—	—	—	2
経常収益計	91,251	—	2,079	—	93,330
(2) 経常費用					
事業費	91,260	—	—	—	91,260
管理費	—	—	2,070	—	2,070
経常費用計	91,260	—	2,070	—	93,330
(うち人件費)	13,712	—	1,418	—	15,130
当期経常増減額	△ 9	—	9	—	—
当期一般正味財産増減額	△ 9	—	9	—	—
一般正味財産期首残高	2,348	—	2,688	—	5,036
一般正味財産期末残高	2,339	—	2,697	—	5,036
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	73,100	—	—	—	73,100
一般正味財産への振替額	△ 84,100	—	—	—	△ 84,100
当期指定正味財産増減額	△ 11,000	—	—	—	△ 11,000
指定正味財産期首残高	568,488	—	—	—	568,488
指定正味財産期末残高	557,488	—	—	—	557,488
<b>III 正味財産期末残高</b>	559,827	—	2,697	—	562,524

# 資金調達および設備投資の見込みについて

自 平成 31 年 4 月 1 日  
至 令和 2 年 3 月 31 日

## 1 資金調達の見込みについて

なし

## 2 設備投資の見込みについて

なし

# 平成30年度事業報告

## 公益財団法人 滋賀県緑化推進会

当法人は、滋賀県における緑化事業の推進と緑化思想の高揚を図ること、および「緑の募金による森林整備等の推進に関する法律」に基づく「緑の募金」を推進することにより、県土の保全、水資源の確保ならびに県民の生活環境の整備および改善に資することを目的とした森林・緑づくりについて普及・啓発を行うとともに、環境に配慮した健全な森林づくりと緑豊かな湖国づくりに関する諸事業を実施した。

### 1 森林・緑づくりの普及・啓発

#### (1) 「緑の募金」運動

市町緑化推進委員会、各種団体、企業および森林ボランティアなどの協力により、家庭募金、街頭募金、職場募金、学校募金および篤志募金などの募金活動を進めるとともに、企業訪問等による募金活動を展開した。

また、春・秋の啓発期間の開始にあたっては、大津駅をはじめ県内の主要なJR駅等において、県下一斉の募金啓発活動を実施した。

期 間 春期 平成30年4月1日から5月31日まで

秋期 平成30年9月1日から10月31日まで

実績額 41,260,024円

#### (2) 「山を活かす、山を守る、山に暮らす交流会」への参画

「びわ湖水源のもりづくり月間」の行事として開催された「山を活かす、山を守る、山に暮らす交流会2018」に、第17回「森林・緑と水といのち」写真コンクール優秀作品等を出展した。

#### (3) コンクール等の実施

第18回「森林・緑と水といのち」写真コンクールおよび「緑の募金・緑化推進」標語コンクールを実施した。また、全国育樹活動コンクール、全日本学校関係緑化コンクール、国土緑化運動・育樹運動ポスター原画募集等への参加を促すとともに、機関紙「湖国『緑の募金』」（3,100部）および「びわ湖緑の少年団」（4,300部）を発行し、緑の募金と緑化の啓発を行った。

#### (4) 緑化相談の実施

イベント主催者や地域住民からの要請に応じ、随時、花木、緑化樹等に関する相談に応じた。

### 2 森づくりの支援

琵琶湖の水源として重要な役割を果たしている森林を健全に育成し、水源かん養機能および水質保全機能を高めるための森づくり事業、森林・林業への理解と参画意識を高めるための普及・啓発などを主とした森づくり活動を支援した。

(1) ふれあいの森づくり事業	守山市ほか5市	6箇所	6.22ha
(2) 学校林づくり事業	大津市ほか2市	5箇所	1.88ha
(3) 協働の森づくり事業	2団体	2箇所	65.00ha

### 3 身近な緑づくりの支援

#### (1) 生活環境の緑づくり事業

生活環境をより一層潤いのあるものにするため、自治会、学校等に緑化苗木 8,503 本を配布し、県内 528 箇所  
の公園、学校、街路等において地域住民の協力により植栽を行い、地域の生活環境の緑化を図った。

(2) 緑のまちづくり事業

公共施設等において緑化啓発および記念行事等として行われる植樹で、緑化の啓発効果が著しく期待できる  
ものに対して、緑化苗木を13箇所へ交付した。

(3) 桜の並木・森の造成

県民の安らぎと憩いの場をつくり、国の花「さくら」に多くの県民が一層親しめるよう県内の企業 2 社から、  
ソメイヨシノ、神代アケボノおよびヤマザクラの苗木 650 本の寄贈を受けて、県内11市町21箇所の公園等に配  
布し、環境緑化を図った。

(4) 学校、福祉施設等の緑化

県内の企業からハクバイの苗木 218 本の寄贈を受けて、県内の学校、福祉施設等に配布し、環境緑化を図っ  
た。また、県内の企業から有料レジ袋収益金の寄付を受けて、県内11箇所の認定こども園・小学校等にシンボ  
ルツリーとして緑化樹木（県の木：モミジ）を配布するとともに、緑化樹木周辺にツツジ、ハナミズキ等を植  
栽した。

(5) 淡海の巨木・名木次世代継承事業

人々の心の支えやまちの顔あるいは地域の誇りとなっている樹木に必要な手当をすることにより、次世代に  
継承していくことを目的として、県内 5 箇所の巨木・名木の樹勢回復事業に助成するとともに、東近江市五箇  
荘地先において「巨木治療研修会」を実施した。

(6) 緑化協力金による緑化促進事業

公益社団法人ゴルフ緑化促進会からの緑化協力金により購入したサクラ11本を陶芸の森に植樹した。

#### 4 森林・環境活動の支援

(1) 緑の少年団の育成支援

緑の少年団を育成するため、33団体に対して活動装備の整備および活動費の助成を行った。

(2) 緑の少年団指導者研修会の開催

緑の少年団の指導者に対して、室内研修や屋外研修など緑化活動に関する研修会を開催した。

(3) 緑の少年団活動交流会の開催

県内の緑の少年団員が一同に会し、交流を深めるため、県立希望が丘文化公園（竜王町）において、森林イ  
ンストラクターの指導のもと、森の自然観察やネイチャークラフトづくりを行った。

(4) 機関紙の発行

機関紙「びわ湖緑の少年団」を 4,300 部発行し、団員全員および関係者に配布した。

(5) 緑の幼年団育成強化事業

学齢前の子どもやその保護者を対象に自然体験活動を行っている NPO 団体に対して、活動費の助成を行っ  
た。

(6) 森林・緑化活動団体の活動支援

地域において緑化等の活動を行っている10団体に対して、活動費の助成を行った。

(7) 団体、企業等への緑化研修

緑化樹木の適切な維持管理方法について、樹木医の協力を得て研修会を開催した。

#### 5 国際緑化協力の推進

緑を通じた国際交流として、本県で学ぶ海外留学生や大学生と緑の少年団との交流を支援した。

## 6 情報公開の一層の推進および効果的な事業展開に向けた検討

当法人の業務運営の透明化および適正化を図るために、ホームページにおいて新着情報を随時掲載した。また、ラジオ等様々な広報媒体を積極的に活用して情報公開の一層の推進を図った。

さらに、他府県の緑化推進会等の活動も参考にしながら、今後の効果的な事業展開に向けて検討を行った。

## 7 中期経営計画の策定

中期経営計画（平成26年度～平成30年度）の計画期間終了に伴い、新たに2019年度を始期とする中期経営計画（2019年度～2023年度）を策定した。



# 正味財産増減計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,862,754	2,912,192	△ 49,438
事業収益	40,000	40,000	—
受取会費	870,000	870,000	—
受取補助金等	4,165,939	4,048,000	117,939
受取寄付金	48,462,908	49,108,065	△ 645,157
雑収益	120,632	70,607	50,025
経常収益計	56,522,233	57,048,864	△ 526,631
(2) 経常費用			
事業費用	54,398,291	54,950,750	△ 552,459
管理費用	2,203,160	2,077,271	125,889
経常費用計	56,601,451	57,028,021	△ 426,570
(うち人件費)	13,725,069	14,173,663	△ 448,594
当期経常増減額	△ 79,218	20,843	△ 100,061
当期一般正味財産増減額	△ 79,218	20,843	△ 100,061
一般正味財産期首残高	5,114,917	5,094,074	20,843
一般正味財産期末残高	5,035,699	5,114,917	△ 79,218
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
受取寄付金	45,260,024	53,656,053	△ 8,396,029
一般正味財産への振替額	△ 48,462,908	△ 49,108,065	645,157
当期指定正味財産増減額	△ 3,202,884	4,547,988	△ 7,750,872
指定正味財産期首残高	571,690,780	567,142,792	4,547,988
指定正味財産期末残高	568,487,896	571,690,780	△ 3,202,884
<b>III 正味財産期末残高</b>	573,523,595	576,805,697	△ 3,282,102

## 正味財産増減計算書内訳表

自 平成 30 年 4 月 1 日  
至 平成 31 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,431,000	—	1,431,754	—	2,862,754
事業収益	40,000	—	—	—	40,000
受取会費	870,000	—	—	—	870,000
受取補助金等	3,445,745	—	720,194	—	4,165,939
受取寄付金	48,462,908	—	—	—	48,462,908
雑収益	120,605	—	27	—	120,632
経常収益計	54,370,258	—	2,151,975	—	56,522,233
(2) 経常費用					
事業費	54,398,291	—	—	—	54,398,291
管理費	—	—	2,203,160	—	2,203,160
経常費用計	54,398,291	—	2,203,160	—	56,601,451
(うち人件費)	12,353,069	—	1,372,000	—	13,725,069
当期経常増減額	△ 28,033	—	△ 51,185	—	△ 79,218
当期一般正味財産増減額	△ 28,033	—	△ 51,185	—	△ 79,218
一般正味財産期首残高	2,375,784	—	2,739,133	—	5,114,917
一般正味財産期末残高	2,347,751	—	2,687,948	—	5,035,699
<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
受取寄付金	45,260,024	—	—	—	45,260,024
一般正味財産への振替額	△48,462,908	—	—	—	△ 48,462,908
当期指定正味財産増減額	△ 3,202,884	—	—	—	△ 3,202,884
指定正味財産期首残高	571,690,780	—	—	—	571,690,780
指定正味財産期末残高	568,487,896	—	—	—	568,487,896
<b>III 正味財産期末残高</b>	570,835,647	—	2,687,948	—	573,523,595

# 貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
<b>I 資産の部</b>			
1 流動資産			
現金預金	12,267,009	11,415,122	851,887
流動資産合計	12,267,009	11,415,122	851,887
2 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	160,000,000	160,000,000	-
投資有価証券	349,406,456	349,264,033	142,423
普通預金	22,193,544	22,335,967	△ 142,423
基本財産合計	531,600,000	531,600,000	-
(2)特定資産			
退職給与積立預金	1,956,504	1,732,530	223,974
緑の募金積立預金	35,817,152	37,286,989	△ 1,469,837
平和の緑づくり積立預金	1,070,744	2,803,791	△ 1,733,047
特定資産合計	38,844,400	41,823,310	△ 2,978,910
固定資産合計	570,444,400	573,423,310	△ 2,978,910
資産合計	582,711,409	584,838,432	△ 2,127,023
<b>II 負債の部</b>			
1 流動負債			
未払金	6,565,241	5,611,961	953,280
前受金	401,000	427,000	△ 26,000
預り金	265,069	261,244	3,825
流動負債合計	7,231,310	6,300,205	931,105
2 固定負債			
退職給与引当金	1,956,504	1,732,530	223,974
固定負債合計	1,956,504	1,732,530	223,974
負債合計	9,187,814	8,032,735	1,155,079
<b>III 正味財産の部</b>			
1 指定正味財産			
出捐金	410,000,000	410,000,000	-
寄付金	158,487,896	161,690,780	△ 3,202,884
指定正味財産合計	568,487,896	571,690,780	△ 3,202,884
(うち基本財産への充当額)	(531,600,000)	(531,600,000)	(-)
(うち特定資産への充当額)	(36,887,896)	(40,090,780)	(△ 3,202,884)
2 一般正味財産	5,035,699	5,114,917	△ 79,218
正味財産合計	573,523,595	576,805,697	△ 3,282,102
負債及び正味財産合計	582,711,409	584,838,432	△ 2,127,023